

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	平戸市療育支援センターあつたかさん2 1				公表日	令和 8年 3月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・お子さんの特性や運動量などに合わせた設定にし、しっかり発散したりリラックス出来るような空間づくりに努めている	・保護者の皆様に、来所前の様子などを伺い調整しているが、必要に応じ学校と連携しながら、日ごろの状況を把握していく
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		4	・職員の経験やスキルに合わせ、担当するグループやお子さんを決め、負担が偏らないようにチームで進めている	・職員が休む際に、療育を調整せざるを得ない状況がある。質の高い療育を安定供給する為にも、後任育成を含めた増員が必要
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・活動に集中出来るよう、机や椅子・部屋を分けるなど個々に合わせている	・視覚刺激にならないように工夫しながら、解り易い視覚支援を用いて提示をする
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	2	・虫が多いが、朝有の清掃で、気持ちよく活動出来るよう努めている ・雨漏りがあるが出来るだけ目立たないよう対策をしている	・年内に、設計・工事着工が決まっているので雨漏り対策をしながら対処する ・清潔な状態を保てるよう、朝夕だけでなく職員が協力して気を配る
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・痲痺や、場所の移動を拒む時などは、個別で対応し、気持ちを聞いたりケルが出来るようにしている	・気持ちを落ち着ける為の個別対応をしているが、必要に応じて、集中する為等の個別対応も視野にいれ考えていく
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		・個人記録、プログラムに対する振り返りの記録は、全スタッフが確認出来るようにし職員が休んだ際にも滞りなく療育を提供出来るようにしている	・個々に合った教材などを手作りし、必要な課題や支援に合った内容を提供していく ・計画の実行や成果だけでなく、お子様の表情や反応等も細かく観察し共有していく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・ご意見を頂いた方が解らないので、直接の改善やご説明が出来ずもどかしいが、全体で共有しながら関わっている	・書いて頂いた内容についての改善点や工夫を保護者の皆様に解り易く提示していく ・職員間で情報共有しながら対応する
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2	・面談や児発言が様子を聞きに行つて、話を伺っている ・保護者からの質問は全職員で共有している	・話しかけやすい雰囲気作りや、話せる機会を作り、保護者との関わりを増やす ・全職員で共有し、全体として対処する
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4	・ST/O Tなど、専門職が来所した際等に療育の様子を見て頂いたり、相談して助言を貰っている	・しっかりと評価の機会を設けているわけではないので、今後はどう方法で外部評価を取り入れるか検討していく
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・オンライン開催の研修に参加したり、交代で参加して伝達するようになっている。	・しっかりと研修内容を理解し、実際に実技等に参加出来るようにする。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		・母子通所なので、実際に保護者と関わり、お子様の様子や支援の仕方を共有している	・職員個々の経験やスキルによって、助言を出来る内容が違つるので、全体として課題を整理・共有することで支援を一定化する。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・全員で話ながら、情報を共有したり、課題を考えるようにしている	・課題の整理票や保護者の皆様の話などを全員で把握し、個人面談の内容でニーズを把握しながらよりよい計画に繋げる。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		同上	同上
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		4		・業者のサービスやシステムを使っていない助言指導を受けられる体制はあるが、今後サービス等の導入も視野に入れたい。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・全員で話ながら、情報を共有したり、課題を考えるようにしている	・うち合わせや反省会などを丁寧に行うだけでなく、日ごろ気づいた事やアイデア等も伝え合える関係性を大事にしていく。

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		4	・マンネリ化しないようにしつつも、一定の流れで安心したり見通しを持てるお子さんが多いことにも配慮して進めている。	・保護者の皆様へのご説明を丁寧に行い、同じに見える活動の中にも狙いや視点は変化している事などを伝えていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		・S/T/O/Tの意見や助言を貰いながら進めている。	・小集団活動を基盤として、個々に合わせた対応を行うように心がけ、ニーズに合った支援が出来るよう努める。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・プログラム立案や教材作成も、アイデアを出しあいながら進めている。職員の負担や得手不得手が偏らないよう協力している	・うち合わせや反省会などを丁寧に行うだけでなく、日ごろ気づいた事やアイデア等も伝え合える関係性を大事にしていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		・話し合いだけでなく、記録をしっかりと残り支援者が変わっても、お子さんを正しく把握できるようにしている	同 上
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		同 上	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		・必要に応じ、関係機関連携会議等も行い課題の把握や共有、計画の見直しに繋げている	・母子通所の利点でもあり、実際にお子さんの様子や情報を共有するようにしている。出来るだけ話を聞く機会を作っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		・個々の課題に合わせ、無理のないスモールステップで進めている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		・日々の記録を持参し、利用の様子や小さな変化を伝えている。	・関係機関との連携を密にし、共通認識や一貫した支援に繋がるよう努める。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		・平戸市と連携し、各種健診からの勧奨や療育相談や園訪問の同行・参加に努めている	・保育士と連携し、見学の受け入れや質問相談に応じている。今後も継続し、地域でお子さんを包括的に支援するよう努める。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4		・学校から連絡を頂ける関係性が出来ている ・保護者送迎のため、学校と対面する事は少ないが、連携に努めている	・移行支援時の情報や、評価結果の共有、支援についての情報提供などに努めている。 ・学校への会議などに積極的に参加する。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	3	・継続した情報共有が出来ている	・転出・転入等の際に、引継ぎを行うことで特性の理解や必要な支援体制が途切れないよう移行支援に努める。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		同 上	同 上
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4		同 上	同 上
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4		・1時間の療育のため、交流の時間は設けていない。他の学年や他校の生徒と関わられるような行事は作っている。	・療育の方法や、時間など、地域との関わりを持つことは難しい。今後も模索はするが実現は難しい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			・母子通所の利点でもあり、実際にお子さんの様子や情報を共有するようにしている。出来るだけ話を聞く機会を作っていく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		・職員と保護者、保護者同士の交流はある程度持っている。	・母子通所のため、同じグループの保護者同士での関わりはある。今後、ペアトレも考えていきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		・適切に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		同 上	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		同 上	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		同 上	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4	<ul style="list-style-type: none"> きょうだいについての悩み相談などには対応しているが、そのお子さん自体への実際の支援は出来ていない。 同伴したきょうだいには出来るだけ声をかけ関わるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員と保護者、保護者同士の交流はある程度持っているが、今後は保護者研修など交流出来る機会も考えていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		4	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じ対応している。 	<ul style="list-style-type: none"> これまで、ご要望は寄せられたが、苦情はほぼないが、事情ボックスや第三者委員、相談支援員等と連携して対応していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		4	<ul style="list-style-type: none"> お便りや、館内掲示などで、情報を発信している。SNSなどを希望される声もあるが、療育業務以外は難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> SNSなどの発信は出来ないが、保護者と実際にお子様の様子を共有しながら交流しながら、丁寧な支援に努めたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		4		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		4	<ul style="list-style-type: none"> 絵カードや代弁など、個々に合わせて支援するよう努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ご家庭でも実行できそうな支援方法の提案や、園や学校との情報共有に努めたい。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		<ul style="list-style-type: none"> 利用時間の関係で、難しい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		4	<ul style="list-style-type: none"> 適切に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 実施しているが、知らない方も多い。実施の様子やマニュアルについてなどしっかり伝えていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		4	同上	同上
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		4	<ul style="list-style-type: none"> 把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> 服薬の様子や、受診の様子等を細かく把握共有するよう努めている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		4	<ul style="list-style-type: none"> 食事を提供しない（給食等）、同伴している保護者と連携出来ている。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前にしっかり把握し、保護者への説明や確認を怠らないよう努める。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		4	<ul style="list-style-type: none"> 適切に行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際に起こった時のことを想定した訓練が出来よう、緊張感をもって対処したい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	3		<ul style="list-style-type: none"> 家族への周知が足りないのか、計画等について知らない方が多い。今後は安全に安心して利用して頂けるよう説明に努める
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。		4	<ul style="list-style-type: none"> 適切に行っている。 	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。		4	同上	<ul style="list-style-type: none"> 法人で研修会を実施したり、保健所から講師を招いた講習会に参加している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		4	<ul style="list-style-type: none"> 契約時に、解り易く説明し、理解を求めている。同時に少しでも気になる事があった時はお知らせ頂くようお願いしている 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間でも、声のかけ言葉遣いなどを見合うようにし、適正な関わりや支援を提供出来るよう努める。 	